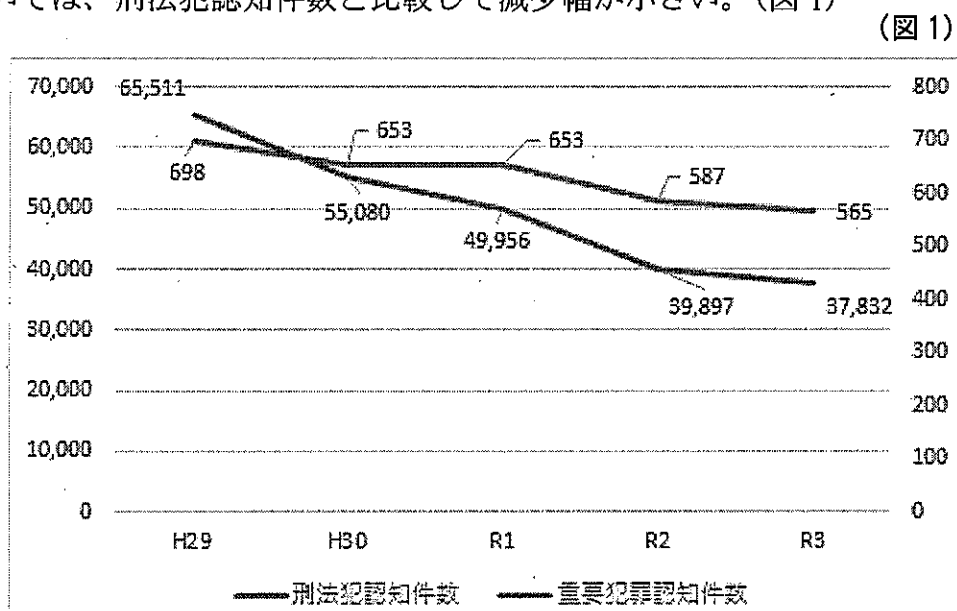


愛知県における犯罪被害者等を取り巻く状況

1 愛知県における刑法犯認知件数等

(1) 刑法犯認知件数及び重要犯罪件数の推移 (H29～R3)

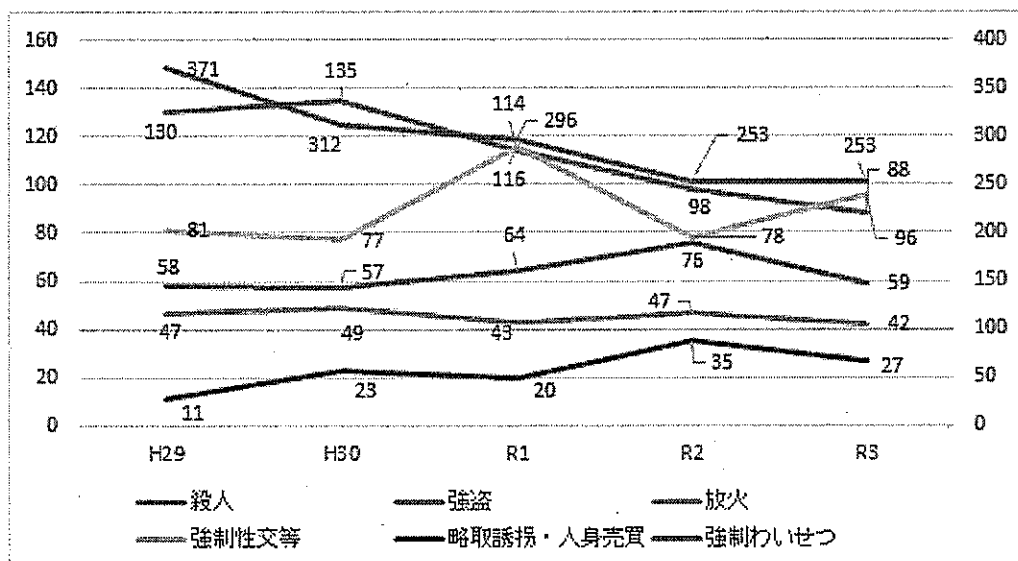
○ 刑法犯認知件数、重要犯罪認知件数とも減少傾向にあるが、重要犯罪認知件数については、刑法犯認知件数と比較して減少幅が小さい。(図1)



(出典) 愛知県警察 犯罪統計月報

(2) 各年度における重要犯罪認知件数の犯罪種ごとの件数推移 (H29～R3)

○ 強盗、強制わいせつについては減少傾向にある。殺人は年によってばらつきがあるが、放火と同じく平成29年と令和3年の件数は同水準である。また、強制性交等、略取誘拐・人身売買は増加傾向になっている。(図2)



(出典) 愛知県警察 犯罪統計月報

2 被害者サポートセンターあいちにおける支援状況

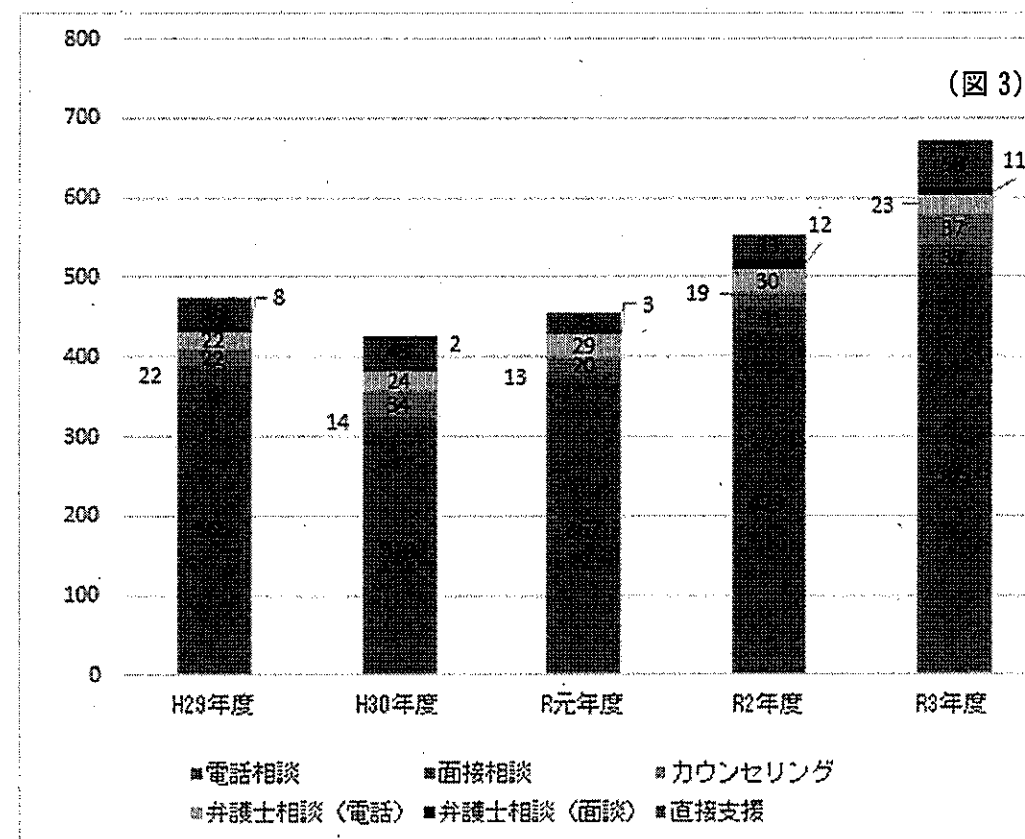
(1) 支援総数の推移 (H29～R3)

○ 刑法犯認知件数及び重要犯罪認知件数は減少しているが、支援総数は平成30年度以降、増加傾向になっている。(図3)

なお、平成29年度から平成30年度にかけて減少しているのは、全国被害者支援ネットワークの統計項目の変更(自助グループが無い県があるため、自助グループ支援件数を除外するなど)があったためである。

○ 平成29年度と令和3年度について、支援項目ごとに件数を比較すると、弁護士相談(電話)は同水準だが、それ以外の支援項目は増加している。(表1)

○ 平成29年度と令和3年度について、支援項目ごとに件数の増加率をみると、面接相談、カウンセリングの増加率が最も大きく、次いで直接支援が大きくなっている。(表1)



※公益社団法人被害者サポートセンターあいち資料から作成

(表1)

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	伸び率 (H29年度→R3年度)
電話相談	365	310	367	429	505	138.4%
面接相談	22	14	13	31	37	168.2%
カウンセリング	22	34	20	19	37	168.2%
弁護士相談(電話)	22	24	29	30	23	104.5%
弁護士相談(面談)	8	2	3	12	11	137.5%
直接支援	36	43	23	33	58	161.1%

※公益社団法人被害者サポートセンターあいち資料より作成

(2) 電話相談の内訳 (H29~R3)

- 電話相談の内訳についてみると、年によりばらつきはあるものの、暴行傷害、交通事故、死別・自殺、その他を除き、直近の2年度で最も件数が大きくなっている。(表2)
- 重要犯罪についてみると、認知件数の推移と相談件数の推移は一致していない。(図2、表2)
- 県内の交通事故死者数は、平成29年から令和3年にかけて約半数まで減少している一方で、交通死亡事故に関する相談は令和3年度の件数が最も大きくなっている。(表2、表3)

(表2)

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
殺人	9	4	7	21	19
強盗(致死傷)	0	1	0	10	4
強制性交等(準含)	6	5	15	39	60
監護者性交等	22	1	0	2	2
強制わいせつ(準含)	21	28	18	28	110
監護者わいせつ		0	0	0	1
その他の性的被害	21	10	18	21	22
暴行傷害	54	52	52	38	46
その他の身体犯	4	4	10	6	9
交通死亡事故	6	11	6	21	62
交通事故	12	25	35	19	16
財産的犯罪	41	22	31	33	44
DV	9	11	14	22	16
ストーカー	12	8	9	10	13
虐待	0	1	1	6	2
死別・自殺	1	3	1	2	0
その他	168	124	152	151	79

※公益社団法人被害者サポートセンターあいち資料より作成

最も件数が多かった年
2番目に件数が多かった年

愛知県における交通事故死者数の推移(人)(表3)

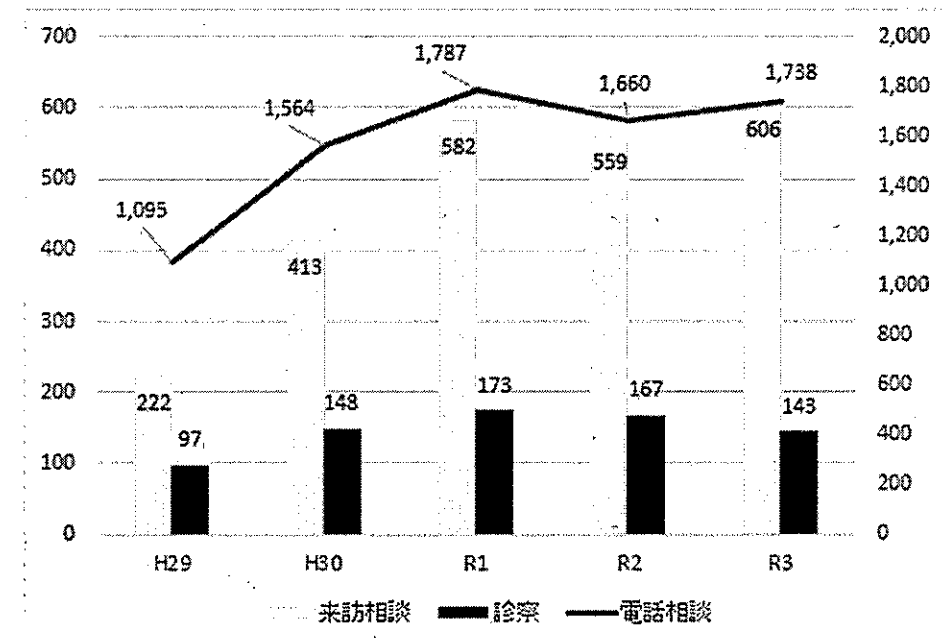
H29	H30	R1	R2	R3
200	189	156	154	117

(出典) 愛知県警察 愛知県の交通死亡事故発生状況

3 性暴力救援センター日赤なごやなごみにおける支援状況

- 年によりばらつきがあるが、電話相談件数、来訪相談件数とも増加傾向になっている。診察件数については、平成29年から令和元年にかけて増加したが、令和2年、令和3年は減少している。なお、この要因の一つとしては、令和2年、令和3年には新型コロナウイルスの感染拡大から自宅に留まる方が多かったことが考えられる。(図4)
- 強制性交等、強制わいせつの認知件数と比較して、電話相談件数、来訪相談件数ともに大きくなっている。また、電話相談件数、来訪相談件数の合算に対する認知件数の割合は、平成29年から令和3年にかけて大きく増加している。

(図4)



※性暴力救援センター日赤なごやなごみ資料より作成

【認知件数】

(表4)

	H29	H30	R1	R2	R3
強制性交等	81	77	116	78	96
強制わいせつ	371	312	296	253	253
計	452	389	412	331	349

【相談件数】

	H29	H30	R1	R2	R3
電話相談	1,095	1,564	1,787	1,660	1,738
来訪相談	222	413	582	559	606
計	1,317	1,977	2,369	2,219	2,344
相談件数総数/認知件数総数	291.4%	508.2%	575.0%	670.4%	671.6%

※性暴力救援センター日赤なごやなごみ資料より作成